

29 名の参加者

7 カ国の参加

10+ の透析に関するプレゼンテーション

3 タイプのカテーテル留置トレーニング



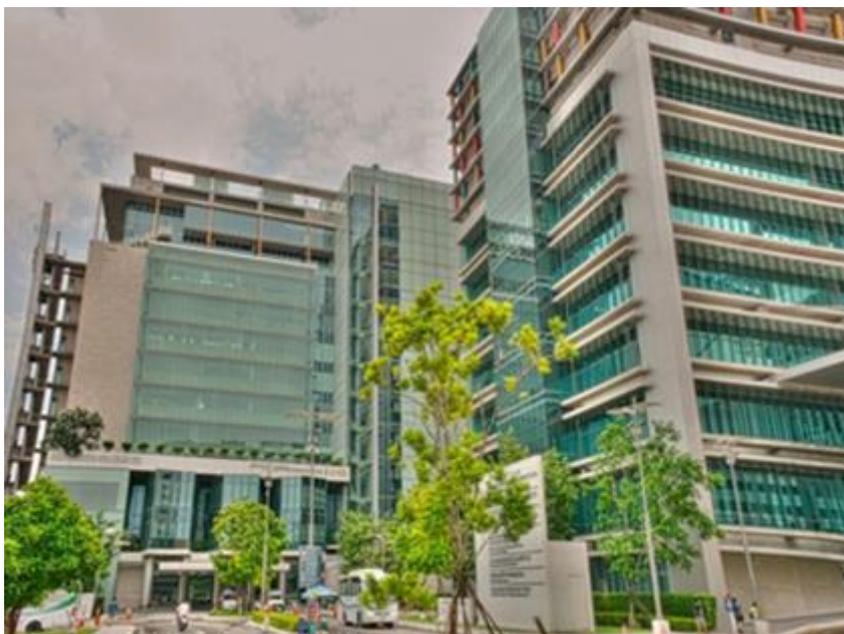
2017年10月11日～10月12日の日程でタイにて、医師を対象とした Medtronic 主催のトレーニング及び情報交換会『Leading Endovascular Advancement in Dialysis』がタイ国内最大最古の Shiriraji 病院にて開催されました。この会は、各国の維持透析患者のアクセス選択、留置、管理の現状の意見交換を行い、治療成績向上に向け新たな知見を得るというものです。7ヶ国から29名の医療従事者が参加し、10の関連講演、カテーテル留置のトレーニングが行われ、活発なディスカッションが行われました。

日本からは、関島光裕先生に参加頂き、維持透析患者さんのアクセストラブルが発生した際のアクセス治療の戦略、技術を講演頂き、またハンズオントレーニングではトレーナーの役割を担って頂き、参加者に対して、カフ型カテーテルの留置手技について、手技や技術を伝えて頂きました。

維持透析患者を多く抱える日本でのアクセス治療の現状、カテーテル留置手技は、参加者にとって非常に有益な情報であり、各国での医療技術の発展に寄与する機会となりました。

最後に、参加者に対する表彰が行われ、今後この会を継続的に実施し、構築した各国とのネットワークを将来に繋げ、継続的に情報交換することも議論されました。

Shiriraji 病院



講師の先生方



関島先生講演様子



ハンズオンの様子

